

山開き 夏山シーズンを前に安全祈願

さわやかな晴天に恵まれた5月3日、夏山シーズンの幕開けを前に森吉山の山開き(森吉側)が行われ、県内外から参加した登山愛好者ら約130人が今年1年の安全登山を祈願しました。

森吉山は、市中央南部に位置する標高1454メートルの独立峰。山頂からの眺望は四方に開け、天候に恵まれれば遠くは八甲田の峰々や岩木山など隣県の名山をも望むことができます。山腹はブナ林、標高1000mから山頂部まではアオモリトドマツの原生林が広がり、「花の百名山」として初夏から秋にかけて約300種類ともいわれる高山植物が咲き誇ります。

今年3月に入ってから暖かい日が続く、例年だと登り口のこめつが山荘付近にも残っている山腹の積雪も例年より少ない状態。参加者らは午前8時30分に出発、登山ルートになっている旧森吉スキー場ゲレンデの残雪を踏みしめながら一ノ腰(標高1264m)を経て森吉神社までの約4キロを各自のペースで登りました。

11時過ぎから同神社で行われた神事

では、お神酒などを供えて礼拝し、今年1年の無事故と安全を祈願しました。

このあと、山頂に向かう人も多くいました。能代市から参加した女性(56)は、山頂で360度のパノラマを眺めながら、「森吉山は春山もよく訪れる。今日は天気も最高でこの眺めは何にも代えがたい」と話していました。

また、今年の山開きには森吉山が会場になった昨年の秋田わか杉国体山岳競技成年女子で優勝した本巣チームの吉田麻衣子さんと加賀谷絵里さんらもプライベートで参加。



森吉神社での安全祈願祭



ザゼンソウ

吉田さんは、「森吉山は競技では何度も登ったがこうして仲間と一緒に登るのは小学生のとき以来とても楽しんでいます」と八幡平や岩手山の山並みをバックに、笑顔で答えてくれました。

森吉山は、「花の百名山」に数えられ、シーズンには様々な高山植物が咲き誇ります。例年6月上旬にはチングルマやヒナ

ザクラなどが咲き始め、次第に登山道沿いのお花畑がにぎやかになり、シーズンの最盛期へと導きます。

登山コースは8ルートありますが、山開きが行われたのは「様田コース」。このほか、「阿仁ブナ帯コース」「奥森吉ヒバクラコース」などの人気コースがありますので、詳しくは次までお問い合わせください。

森吉登山についてのお問い合わせ

市役所商工観光課

☎0186 626 639

観光案内所四季美館

☎0186 753 188



キクザキイチゲ(別名:キクザキイチリンソウ)とフキノトウ